愛知県議会議員

桜井ひでき

県政レポート

2022年10月
発行：桜井ひでき事務所

現場の声を
県政に!

vol.15

裾野市議会議員選挙では
お二人見事当選を果たしました！

message

選挙シーズンに突入しました！

2023年統一地方選挙が始まることを受けて、中間地方選挙である「裾野市議会議員選挙」が10月施行されました。トヨタ労組からは3選を目指す「井出 悟」さん、トヨタ自動車東日本労組からは再選を目指す「浅田 基行」さんが出馬され、2名の仲間議員の応援をさせていただきました。来年1月には田原市議会議員選挙・愛知県知事選挙、そして4月にはいよいよ小職の愛知県議会議員選挙になります。現在、職場では後援会活動など、全力で取組んでいただいていますが、自分自身も来る日に備え、準備を進め全力で議員活動に邁進します！

TOPICS 1

一般質問を行いました！

本会議において一般質問をする機会をいただき、「産業におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組」と「安全で快適な自転車通行空間整備」について愛知県の取組を質しました。今回は、産業におけるカーボンニュートラルの実現（脱炭素社会）に向けた愛知県の取組について紹介します。

質問1　自動車サプライヤー新事業展開支援事業について

Q 2035年までに新車販売で電動車100%を実現とされているが、電動化により影響を受ける企業への業態転換を含めた対応を伺う。

矢野経済産業局長 答弁　中小自動車サプライヤーが今後とも安定的に収益を確保し続けるためには、新たな事業の柱を確立することが重要でCASE等に関する最新トレンドやカーボンニュートラル対応等に関する情報提供等を目的としたセミナーの開催及び自社が持つ既存の技術を活用した新事業展開を専門家によるハンズオンにより支援していく。

大村知事 答弁　自動車産業におけるカーボンニュートラルや電動化の進展は、部品サプライヤーにとっては新事業進出のチャンスでもあることから、中小自動車サプライヤーの新事業展開を引き続き支援し、より多くの企業が成長の果実を享受できるカーボンニュートラルの実現を目指していく。

質問2　企業におけるグリーン水素の活用拡大に向けた支援

Q 今後の企業におけるグリーン水素の活用拡大に向け、県としてどのような支援を行っていくのか伺う。

水野環境局長 答弁　水素の調達・製造・供給に係るコストの削減や流通体制の構築など、企業が水素を利用しやすい環境を整備しながら、環境価値の高いグリーン水素を利用する社会的意義の発信や、水素の製造事業者と安価な再生可能エネルギーの提供者やグリーン水素を使いたい事業者とのマッチングなどの支援にも力を入れ、企業におけるグリーン水素の活用を促していく。

桜井の意見！

労働組合も550万人の雇用を守るために従来では考えられなかった、組合の代表と超党派の国会議員の県連代表とともに知事に要望するなど取組の「本気度」を感じます。

TOPICS 2

令和4年9月
定例議会

県政150周年を迎え次の時代を切り開く議会を開会！

代表質問

9月定例議会が9月21日(水)～10月14日(金)までの会期で開催され、自由民主党・新政あいちの2会派が代表質問を行い、新政あいち県議団からは、幹事長である天野正基議員(小牧市選出：4期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。

質問1　新型コロナウイルス感染症対策における保健・医療提供体制の確保について

代表質問する天野議員

Q　重症化率は低いといったオミクロン株BA.5系統の特性を踏まえて、地域の保健・医療提供体制と自宅療養者の支援体制を確保するための取組と今回の国における全数届出の見直しに対しての取組について伺う。

大村知事 答弁　第7波では、オミクロン株BA.5系統への置き換わりによる感染急拡大に対応するため、第6波に引き続き、保健所の業務を重症化リスクのある方への健康観察等に重点化した。軽症者が多いBA.5系統の特性を踏まえ、休日・夜間に一部の診療・検査医療機関への受診が集中することのないよう、発熱患者等に、平日の日中での、かかりつけ医への受診や、電話・オンライン診療の活用を呼び掛けてきた。また、自宅療養者が体調悪化時に相談できる「受診・相談センター」を設けた。**全数届出の見直しについては、本県では、発生届の対象となる方に、引き続き保健所による重点的な健康観察等を行うとともに、発生届の対象とならない方についても、これまでと同様の療養者支援を行い、引き続き、県民の皆様の生命と健康を全力で守っていく。**

質問2　原油・原材料価格高騰の影響を受ける中小企業の支援について

Q　原油・原材料価格高騰の影響を受ける中小企業に対し、どのような支援に取組んでいかれるのか伺う。

答弁する大村知事

大村知事 答弁　これまで昨年11月と本年6月に補正予算を計上し、原油・原材料価格高騰の影響を大きく受ける中小企業に対して県独自の支援策を実施してきた。しかし、原油・原材料価格の高騰や極端な円安が依然として続いていることから、資金繰り支援を強化するため、いわゆるゼロゼロ融資等の借り換えに特化した融資制度として「新型コロナ借換」を創設するとともに、本年9月末までとしていた信用保証料補助の取扱期間及び貨物自動車運送事業者に対する支援金の対象期間の来年3月末までの延長、**また、新たに、主燃料として大量に使用するLPガスの価格高騰の影響を受け、厳しい状況にある窯業事業者に対する負担軽減のための支援を9月議会で提案した。県として、今後も県内産業への影響を注視**するとともに、引き続き、本県の強みであるモノづくりとデジタル技術の融合による愛知発のイノベーション創出や、地域産業の活性化など、本県産業の持続的発展を図るための取組を強力に推進し、「産業首都あいち」を支える中小企業を全力で支援していく。

質問3　県立高校における高大連携の取組について

答弁する飯田教育長

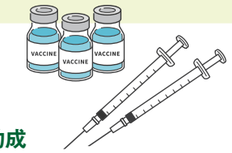
Q　県立高校における高大連携を今後どのように進めていくおつもりなのか、教育長の考えを伺う。

教育長 答弁　県立高校では、2022年度にスーパーサイエンスハイスクールに指定された岡崎高校を皮切りに、名古屋大学などの高度な研究・教育を行っている大学との連携を開始し、高校生が大学教授の講義を受け、その指導のもとで探究活動を行っている。さらに、愛知県立大学と包括的な連携協定を締結し、高校生が大学の教育・研究に触れる機会の充実や、教員の資質・能力の向上など、幅広い分野で連携を深めていくこととした。今後は、**2025年の開校を目指す中高一貫校における探究型カリキュラムの開発や、スーパーサイエンスハイスクールにおける文理融合型の探究への進化、高校と大学の学びのスムーズな接続など、県立高校における高大連携の取組を一層強固なものにしていく。**

主な議案

9月議会では、新型コロナウイルス感染症には引き続き対応しながらも、経済活性化や物価高対策も必要となるなかで、一般会計総額では995億余円の補正予算をはじめ、条例の一部改正などを集中的に審議し可決成立させました。また、「地方財政の充実・強化について」「自動車関係諸税の抜本見直しについて」他4件の意見書も国に送付しました。

補正予算の主な概要

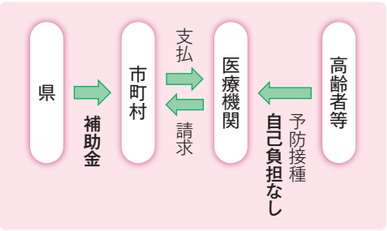


■高齢者等に対して市町村が実施するインフルエンザワクチン接種の費用を助成

【概要】

○接種対象者
①65歳以上の者
②60歳以上65歳未満の者で特定の疾患※を有する者
※心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害

○補助先　市町村
○補助額　市町村が定める自己負担相当額
○補助率　10／10



■豊田加茂総合庁舎の整備を推進

豊田加茂福祉相談センターを集約した、豊田加茂総合庁舎の一部木造による整備を進めます。

【事業期間】
設計及び工事：2023年度～2026年度

出典：国土地理院

■矢作川カーボンニュートラルプロジェクトの個別施策の実現に向けた取組を推進

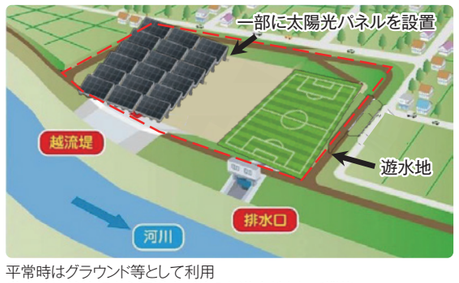
【検討概要】

①ダム群の高度利用による発電力の増強
国で試行しているダムの運用高度化の事例を収集するとともに、矢作川流域のダムの現状の運用実態を調査する。そのうえで、矢作川流域のダム群で運用高度化の可能性について検討する。

②遊水地を利用した太陽光発電施設の設置
遊水地を利用した太陽光発電施設設置について、県で整備を進めている菱池遊水地をモデルに、構造の検討や民間導入にあたっての課題の整理を行う。

③建設業におけるCO_2排出量の削減検討
多くのCO_2を排出する建設工事について、低炭素型建設機械やCO_2吸収型材料などの情報収集を行い、採用に向けての検討を進める。

〈遊水地を利用した太陽光発電設置イメージ〉



平常時はグラウンド等として利用
洪水時は越流堤から河川水が流入し遊水地として機能

■原油価格・物価高騰等総合緊急対策

- 私立学校のスクールバスの燃料費及び学校給食費
- 福祉車両や透析患者の送迎及び訪問診療に使用する車両の燃料費
- 公衆浴場の燃料費
- 施設園芸農業者、食肉流通センター、漁業者及び林業者等の燃料費
- 農業者の肥料費
- 畜産農家の配合飼料費及び粗飼料費
- 路線バス、鉄軌道、タクシー及び定期航路の燃料費及び電気料金
- 貨物自動車運送事業者の燃料費
- 窯業事業者の燃料費
- 県立学校及び民間の保育所の学校給食費等　など

TOPICS 3 YouTubeを配信しています！

新政あいち県議団にて「思い出に残る一般質問」と題し、令和2年2月議会でおこなった「初めての一般質問」というテーマでYouTube動画を投稿しています。仲間議員の投稿や代表質問についても紹介しておりますので、是非ご覧ください。

YouTube
これからの産業政策に求められるもの
【桜井秀樹／豊田市】

TOPICS 4 ジブリパークが開園！

スタジオジブリ作品の世界観を表現した公園施設「ジブリパーク」が愛・地球博記念公園（モリコロパーク）内に11月1日オープン。第1期開園は「ジブリの大倉庫」「青春の丘」「どんどこ森」の3つのエリアです。

©Studio Ghibli

ジブリの大倉庫 ジブリの秘密がいっぱいつまった大倉庫。建物の中に生まれたふしぎな町には、作品展示や子どもたちが遊べる部屋、映像展示室、カフェやショップなど盛りだくさん。

©Studio Ghibli

青春の丘 丘の上から公園を見下ろすのは『耳をすませば』の「地球屋」です。あのベランダからは園内を一望できます。

©Studio Ghibli

どんどこ森 「サツキとメイの家」で『となりのトトロ』の世界へ。裏山の頂上には「どんどこ堂」が待っています。子どもたちだけが中に入れますよ。

日々の活動

少しずつではありますが、コロナ前の生活に戻りつつあります。

7/30（土） 第54回豊田おいでんまつりオープニングに出席

5年ぶりの総踊り開催！ 3年前のラグビーワールドカップの賑わいを思い出す程、多くの人の元気な姿を見ることができました。

8/15（月） 令和4年度 愛知県戦没者追悼式に出席

全国同時放映された天皇陛下のお言葉を賜り、献花をさせていただきました。ロシアによるウクライナ侵攻と77年前の惨禍が重なりました。

8/25（木） NEDO福島水素エネルギー研究フィールドを視察

浪江町にある再生可能エネルギーを利用した世界最大級となる水素製造施設を視察させていただき9月議会での一般質問に繋げました。

8/28（日） 豊田市立上郷中学校 避難所開設訓練を視察

自主防災会が主となり、中学生・子ども会・消防団・地元企業協力隊などに加え、消防署・水道局など行政側も参加。地域挙げての訓練となり地域力の高さを感じました。

9/2（金） 明治用水頭首工を視察

現地や管理棟を視察させていただきました。取水量はほぼ回復しましたが、恒久的にはまだ時間がかかります。夏の猛暑もある中、関係者の懸命なご努力に感謝であります。

10/5（水） トヨタ紡織（刈谷本社）歴史未来館を視察

豊田綱領の精神である「世のため 人のため」の志を受け継ぎ、ものづくりの原点に立ち返る意味として、ユタカクラブ議員協議会桜井グループで研修を開催しました。

ホームページを是非ご覧ください ▶ https://sakurai-hideki.com/

発行：桜井ひでき事務所
〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555　FAX 0565-29-0274